

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第1区分

【発行日】平成17年2月17日(2005.2.17)

【公表番号】特表2004-503217(P2004-503217A)

【公表日】平成16年2月5日(2004.2.5)

【年通号数】公開・登録公報2004-005

【出願番号】特願2002-500917(P2002-500917)

【国際特許分類第7版】

C 1 2 N	15/09
A 6 1 K	38/00
A 6 1 K	39/00
A 6 1 K	39/395
A 6 1 K	45/00
A 6 1 K	48/00
A 6 1 P	35/00
C 0 7 K	7/06
C 0 7 K	14/705
C 0 7 K	14/74
C 0 7 K	14/82
C 0 7 K	16/18
C 0 7 K	16/44
C 0 7 K	19/00
C 1 2 N	5/06
C 1 2 N	5/10

【F I】

C 1 2 N	15/00	A
A 6 1 K	39/00	H
A 6 1 K	39/395	D
A 6 1 K	39/395	N
A 6 1 K	45/00	1 0 1
A 6 1 K	48/00	
A 6 1 P	35/00	
C 0 7 K	7/06	
C 0 7 K	14/705	
C 0 7 K	14/74	
C 0 7 K	14/82	
C 0 7 K	16/18	
C 0 7 K	16/44	
C 0 7 K	19/00	
C 1 2 N	5/00	E
C 1 2 N	5/00	B
A 6 1 K	37/02	

【手続補正書】

【提出日】平成15年2月17日(2003.2.17)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】**【特許請求の範囲】****【請求項 1】**

天然の同じリガンドに対して免疫応答を誘発し、かつ
FLYKWHGFV(配列番号：3), FLHKVHFYV(配列番号：5),

FLHKWHWVV(配列番号：7), FLHKWHWYV(配列番号：9)およびFLHKVHYLV
(配列番号：11)

からなる群より選択される、免疫原性リガンド。

【請求項 2】

請求項1記載のリガンドをコードする、単離されたポリヌクレオチド。

【請求項 3】

請求項1記載の免疫原性リガンドを特異的に認識し、かつ結合する抗体。

【請求項 4】

抗体、および一つもしくは複数の請求項1記載の免疫原性リガンド、請求項2記載の単離されたポリヌクレオチド、または請求項3記載の抗体を含む、組成物。

【請求項 5】

一つもしくは複数の請求項1記載の免疫原性リガンド、請求項2記載の単離されたポリヌクレオチド、または請求項3記載の抗体を含む、宿主細胞。

【請求項 6】

宿主細胞が抗原提示細胞であり、かつ免疫原性リガンドが該細胞の表面に提示される、請求項5記載の宿主細胞。

【請求項 7】

抗原提示細胞が樹状細胞である、請求項6記載の宿主細胞。

【請求項 8】

請求項5、6、または7のいずれか一項記載の宿主細胞および抗体を含む、組成物。

【請求項 9】

MHC分子と共に(in the context of an MHC molecule)請求項1記載のリガンドを提示する抗原提示細胞の存在下で、該抗原提示細胞を犠牲にして產生された、免疫エフェクター細胞。

【請求項 10】

被験者に免疫応答を誘導する医薬品の調製において、請求項1記載の免疫原性リガンド、請求項2記載のポリヌクレオチド、請求項3記載の抗体、および請求項9記載の免疫エフェクター細胞からなる群より選択される、作用物質(agent)の使用。